# 会議の概要

| | |
|---|---|
| 会議の名称 | 第５回　中学校給食あり方懇談会（学識経験者の部２回目） |
| 開 催 日 時 | 平成２９年９月２８日（木）<br>午後２時　　開会<br>午後４時　　閉会 |
| 開 催 場 所 | 茨木市役所　南館６階　第１会議室 |
| 出　席　者 | 小鶴教授（梅花女子大学　食文化学部）<br>桜井教授（立命館大学　政策科学部）<br>村上准教授（追手門学院大学　経営学部）<br>城谷医師（茨木市医師会　学校医）<br>岡田教育長、京兼委員、片山委員、篠永委員、武内委員 |
| 会議の主な意見 | ◆小鶴教授の意見<br>・学校給食で一緒に食べる時間帯を有効に食育活動に持っていくのが一番大事である。バランスが良いものを食べていると気づいていると、一緒に知識も増やすことができる。<br>・今の中学生、高校生の栄養知識、食の知識がメディアに流されてどんどん偏った方向に行っているのがすごく気になっている。知識的なものを学校給食と絡めて、時間を上手に使いながら進めていくことができれば良いと思う。<br>・健康面で言うと高校生の朝ごはんや昼ごはんは内容が揃っていないのが現状である。選択する力や学校給食というかたちで野菜の摂取量を増やすのは給食の良いところである。若いお母さんを引き込みながら体験させてあげることも必要かもしれない。<br>◆桜井教授の意見<br>・学校教育法の理念や、法律の条文に照らし合わせた時、現状がどれだけ達成しているかという視点でみないと、今の選択制がどれだけいいのか不足しているのか見えてこない。調査がそういう視点に立っていないと思う。<br>・家庭弁当の良さは、愛情があり、作れる親は非常においしい、子どもの健康状態にあったものを作れる。ただ、家庭によりばらつきがある。給食の良さは、一律平均に安全性も含め、地域の風土に合った伝統的なものを出すことができ、管理がきく。弁当にするなら作れない家庭をどうするかということも含めて議論しないといけないと考える。<br>・茨木市としての食を子どもが覚えていることが大事だと思う。地域の伝統食や地産地消、結果としておいしい。茨木で給食を食べてきた思い出をどう作るか、もちろん食育の一環だと思うが、そういうことが必要ではないかと思う。 |

| | |
|---|---|
| | ◆村上准教授の意見<br>・中学生のあり方懇談会の会議録を見て、中学生自身が、給食に対して色々なことを考え、発表している中身の濃さ、内容が非常に良いことに驚いた。正にこういうことが食育であると思う。ただし、子どもの食べたい給食が良い給食なのかというところには疑問を感じた。<br>・知識や感覚が育っていれば、そのときにある程度自分が本当に必要なものは食べたくなる。子どもの間、成長期に食を通じて、栄養や食文化の知識が入ってくるかどうかが、大人になったとき豊かな食生活が送れるかどうかの鍵をにぎる大事なことではないか。<br>・おいしく食べるということは、味がおいしいだけでなく、それに対する知識があるか、どういう場所で誰とどう食べるかにより感じ方が変わってくる。自分が作ったから、選んだからおいしいということもある。そんな仕掛けも、単純に給食がというだけでなく、セットで考えるべきだろう。<br>・給食は優れた教育だと思うが、理念としてたてられたものと、実際に行うには、資源、予算が必要で、必ず対立的な問題として出る。調査の幅を広げ他市だけでなく、企業、病院等のやり方など、良いものを取り入れていくこともやっていかないといけないことではないかと思う。<br>・家庭で教育するべき部分を公に放り投げるのは問題があると思うが、子どもには罪がなく、最低限のラインで食育の知識を身に付けることはどこかで担保してやらないといけないと思う。学校教育の中でやらないと格差が開いてしまう。<br>◆城谷医師の意見<br>・校医として見た目から栄養失調であるという子は最近見ない。<br>・食事は健康の中では非常に大事なところ、学校で、特に成長期にある、成長著しい中学生の間、栄養バランスの取れたものがしっかり摂れるというのは、望ましいことである。<br>・子どもの弁当の食べ方により、状況を理解するということがあり、弁当を作り持たせることは気に入っている。親子のつながりみたいなものは大切であると思う。<br>・全員で食べる給食を実施してほしい理由が、給食を提供することにより健康を作る力、食事を選ぶ力をつけてほしいというのならわかるが、時間がないから外注するという形でお願いするのはどうかと思う。親のニーズを満たすためというより、子どもの力になるため子育てにやさしい街づくりとして給食をするなら、政策的に大切なことである。子ども達の生きていく力、健康というところをしっかり見た給食にしてほしいと思う。 |

備考：事務局で、意見を集約しています。